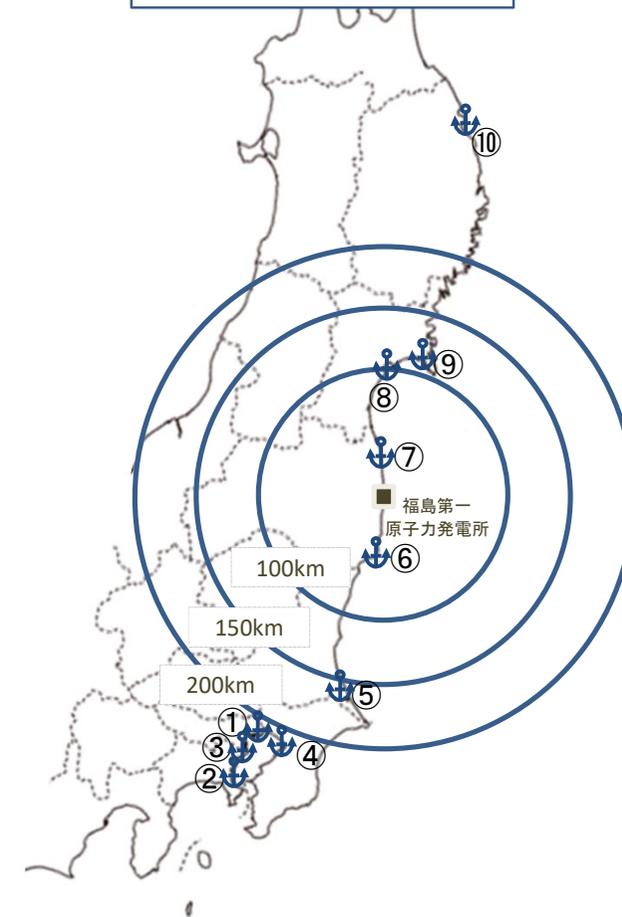


	測定地点	検査日	観測値	年換算値
①	東京港 大井コンテナふ頭<港内>	R7.1.9	0.050 $\mu\text{Sv/h}$ = 0.000050 mSv/h	0.44 mSv
②	横浜港 本牧ふ頭 (BCゲート) <港内>	R7.1.9	0.030 $\mu\text{Sv/h}$ = 0.000030 mSv/h	0.26 mSv
③	川崎港 川崎市環境総合研究所 (神奈川県川崎市川崎区) <川崎港湾合同庁舎から約4km>		測定休止中	
④	千葉港 県環境研究センター (千葉県市原市岩崎西) <千葉港湾事務所から約9km>	R7.1.22	0.027 $\mu\text{Sv/h}$ (AM:8:00) = 0.000027 mSv/h	0.24 mSv
⑤	鹿島港 神栖役所	R7.1.22	0.037 $\mu\text{Sv/h}$ (AM:8:00) = 0.000037 mSv/h	0.32 mSv
⑥	小名浜港 小名浜港アクアマリンふくしま	R6.7.22	0.040 $\mu\text{Sv/h}$ (AM:8:00) = 0.000040 mSv/h	0.35 mSv
⑦	相馬港 相馬港2号ふ頭	R6.7.22	0.090 $\mu\text{Sv/h}$ (AM:8:00) = 0.000090 mSv/h	0.79 mSv
⑧	仙台塩釜港 仙台港区 高砂コンテナターミナル<港内>	R6.11.29	0.069 $\mu\text{Sv/h}$ = 0.000069 mSv/h	0.60 mSv
⑨	仙台塩釜港 石巻港区中島ふ頭<港内>	R6.11.29	0.093 $\mu\text{Sv/h}$ = 0.000093 mSv/h	0.81 mSv
⑩	久慈港 環境保健研究センター (岩手県盛岡市飯岡新田) <久慈港出張所から約81km>	R7.1.22	0.022 $\mu\text{Sv/h}$ (AM:8:00) = 0.000022 mSv/h	0.19 mSv

http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fj-1_000040.html

福島第一原子力発電所
からの距離



- ①出典: 東京都港湾局 <http://www.kowan.metro.tokyo.lg.jp/jishin_kouwanikyoku_oshirase/measurement/>
- ②出典: 横浜港埠頭株式会社 <<http://www.yokohamaport.co.jp/radiation/>>
- ③出典: 川崎市 <<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000085880.html>>
- ④出典: 千葉県 <<http://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/h23touhoku/houshasen/monitoringpost.html>>
- ⑤出典: 原子力規制委員会 <<https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/>>
- ⑥⑦出典: 福島県港湾課 <<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-houshasen.html>>
- ⑧⑨出典: 宮城県港湾課 <<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kowan/housyano.html>>
- ⑩出典: 岩手県 <<http://www.iwate-taiki.jp/radiation/pc/index.html>>

注1) 1Gy/h(グレイ/時) = 1Sv/h(シーベルト/時)で換算し、
 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト/時)単位で小数点第2位まで表示。
注2) 1ミリシーベルト(mSv) = 1000マイクロシーベルト(μSv)
1マイクロシーベルト(μSv) = 1000ナノシーベルト(nSv)
注3) 表中の「年換算値」は、計測点における1時間当たりの放射線量を、
1日24時間365日屋外で浴び続けた場合の数値。
注4) 測定値の下の()は測定時刻。

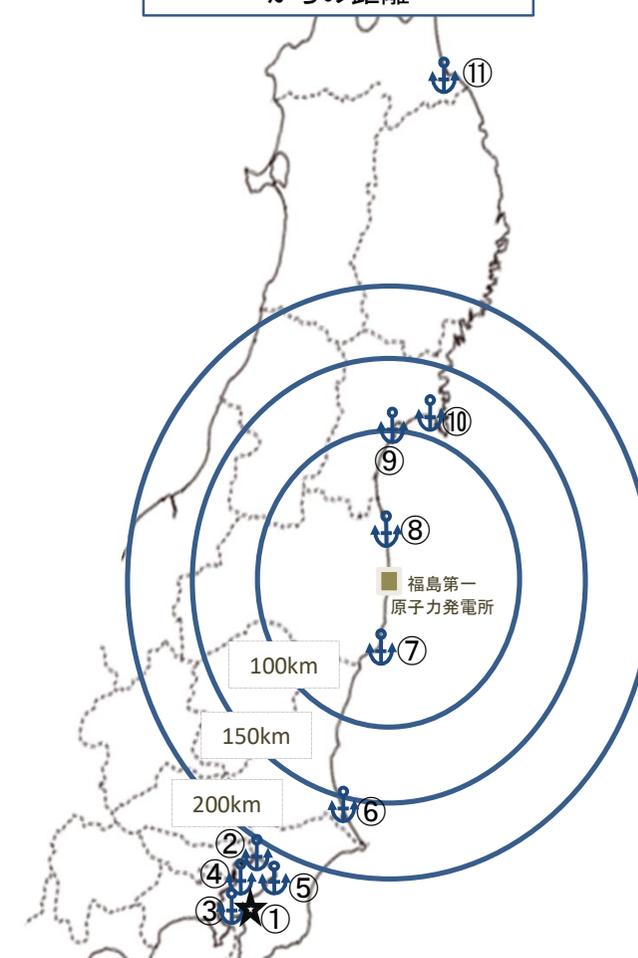
【参考】

- 文部科学省HPで公表している、日常生活で浴びる放射線の例:
 - ・ 胸のX線検診(1回) 0.05 mSv
 - ・ 東京-New York航空機で1往復 0.2 mSv
 - ・ 胃のX線検診(1回) 0.6 mSv
- WHOによれば、人は通常の生活で、平均して年間3.0mSvの放射線を浴びています。

http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr1_000040.html

	測定地点	検査日	ヨウ素 I-131	セシウム Cs-134	セシウム Cs-137
①	東京湾口 浦賀水道航路付近 (検出限界は5Bq/kg)	R7.1.7	ND	ND	ND
②	東京港 大井コンテナ埠頭と青海コンテナ埠頭 の中間地点(検出限界は2~3Bq/L)	R7.1.6	ND	ND	ND
③	横浜港 横浜航路/鶴見航路 (検出限界は1Bq/L)	R7.1.14	ND/ND	ND/ND	ND/ND
④	川崎港 川崎航路	測定休止中			
⑤	千葉港 千葉航路 (検出限界は0.8Bq/L)	R7.1.7	ND	ND	ND
⑥	鹿島港 平井海岸沖 3km (検出限界は1×10 ⁻³ Bq/L)	R6.11.14	-	<0.68	<1.0
⑦	小名浜港 小名浜港4号ふ頭 (検出限界は約1Bq/L)	R6.7.5	ND	ND	ND
	小名浜大剣ふ頭 (検出限界は約1Bq/L)	R6.7.5	ND	ND	ND
⑧	相馬港 相馬港2号ふ頭 (検出限界は約1Bq/L)	R6.7.1	ND	ND	ND
⑨	仙台塩釜港 (仙台港区) 高砂1号ふ頭前 (検出限界は約1Bq/L)	R6.11.13	ND	ND	ND
⑩	仙台塩釜港 (石巻港区) 中島ふ頭2号岸壁前 (検出限界は約1Bq/L)	R6.11.13	ND	ND	ND
⑪	八戸港 八戸港八太郎地区	平成31年3月終了			

福島第一原子力発電所
からの距離



ND=不検出、LTD=検出限界値以下

- ①出典：国土交通省関東地方整備局港湾空港部 <<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/radiation/index.htm>>
- ②出典：東京都港湾局 <http://www.kowan.metro.tokyo.lg.jp/jishin_kouwankyoku_oshirase/measurement/>
- ③出典：横浜港埠頭株式会社 <<http://www.yokohamaport.co.jp/radiation/#air2/>>
- ④出典：川崎市港湾局 <<http://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000031724.html>>
- ⑤出典：千葉県港湾課 <<http://www.pref.chiba.lg.jp/kowan/houshasen/h23sokuteikekka.html>>
- ⑥出典：原子力規制委員会 <https://radioactivity.nra.go.jp/cont/ja/results/sea/seawater-coastal-tepco/349_3_20241210.pdf>
- ⑦⑧出典：福島県港湾課 <<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-houshasen.html>>
- ⑨⑩出典：宮城県港湾課 <<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kowan/housyano.html#kaisui>>
- ⑪出典：青森県港湾空港課 <<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kowan/housya.html>>

【参考】
 ●食品衛生法上の基準値(平成24年4月1日から施行);
 ・飲料水 10Bq(ベクレル)/水1kg
 ※Bq(ベクレル)とは放射性物質から出される放射能の強さのこと。
 ※対象となる核種(セシウム134、セシウム137、ストロンチウム90、プルトニウム、ルテニウム106)の合計。

注1)検査試料は海面表層で採取している。